

研 究 テ ー マ	訪問看護ステーション事故事例研究事業
研 究 目 的	全国の訪問看護ステーション(以下、ステーションとする)における事故予防および事故対応の取り組みの実態を把握し、訪問看護に関するインシデントおよび事故事例を収集および分析をし、事例集を作成すること
研 究 方 法	以下の3つの方法で調査、分析を行った 1. ステーションにおける事故予防・事故対応対策の実態把握 1-1) 事故予防・事故対応対策取り組みの現状(アンケート調査) 1-2) 事故の傾向 2. ステーションにおける事故事例集(ケーススタディ)作成
結 果 及 び 考 察	3つの調査方法により、以下の結果を得て、それぞれの成果が示された 1. ステーションにおける事故予防・事故対応対策の実態では、以下の4点が明らかになった 1-1) (1)事故防止・事故対応マニュアル作成は共に大幅に増加していた(2)事故予防教育の取り組みは、定期的な実施は1割に満たず、大半は不定期に実施 1-2) (1)事故発生時間は午前中が多かった、(2)重大事故は ①転倒・転落 ②ケア中の骨折等 ③カテーテル・チューブに関する事故 の3類型が大半を占めた 2. ステーションにおける事故事例集(ケーススタディ)は、転倒(①屋外②屋内) ③チューブ挿入ミス ④やけど ⑤感染症 ⑥ケア中の骨折 ⑦カルテ紛失 の7事例を作成した 3. 以下の5つのマニュアル、トピックスを作成した 1)リスクマネジメントマニュアル、2)法的責任、3)賠償保険、3)個人情報保護、5)職員教育
研 究 助 成 金 名	平成16年度 全国訪問看護事業協会研究事業